



広島市立安佐市民病院広報紙

—第36号—

〒731-0293 広島市安佐北区可部南二丁目 1-1

TEL : 082-815-5211 (代)

<http://www.asa-hosp.city.hiroshima.jp>

ご挨拶

広島市立安佐市民病院事務局長

新谷 恭治



【はじめまして】

新年明けましておめでとうございます。

昨年4月から安佐市民病院事務局長に赴任しました新谷です。どうぞよろしくお願いいたします。

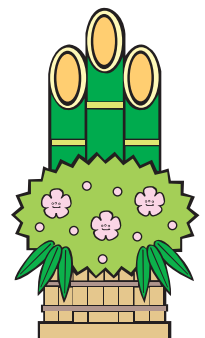
私は以前、広島市民病院に3年、病院事業局経営管理課に4年勤務しておりました。数年ぶりの病院勤務となりますが、毎日繰り返し来院される様々な多くの患者さんの不安や期待に応えようと、曜日・昼夜を問わず奮闘している医療スタッフに改めて敬服しております。

【御礼とお願ひ】

平成23年3月より、安佐医師会および会員の皆さまのご協力により「可部夜間急病センター」が開設・運営され、当地域の急患対応にご尽力いただいております。その結果、当院の夜間診療部門の負担軽減が図られ、当院の本来業務である重篤な救急患者さんへの対応に専念できつつあります。

この紙面をお借りして改めて地域の関係機関の皆様方にお礼申し上げます。

上げますとともに、市民の皆様には可部夜間救病センターの一層のご利用をお願い申し上げます。



【がんばります】

安佐市民病院では、患者さんなど来院される方々から「皆さまの声」（投書）を毎日のようにいただきます。要望や苦情が多いなか、時に感謝やお礼、スタッフへのお褒めの言葉を頂戴します。このようなときには喜んで胸を張り、スタッフに敬意を表して頭を垂れ、また気を引き締めて背筋を伸ばします。一種、上半身のストレッチ体操です。今後は、毎日このストレッチ体操ができるよう、微力ながら事務部門として病院運営の一翼を担えるようがんばります。病院を取り巻く環境はめまぐるしく変化していきませんが、どのような時代にあっても、「すべては患者さんの笑顔のために」をモットーに。

最後になりましたが、本年も地域の皆さまにとってより良い一年となりますようお祈り申し上げます。

【病院機能評価】

安佐市民病院の理念と基本方針

理 念

- ・愛と誠の精神をもって医療を提供します。
- ・地域の基幹病院として高度の医療・ケアを行います。

基本方針

1. 患者さまの立場を尊重し、理解と納得 にもとづいた医療を行います。
2. 安全な医療と快適な療養環境の提供に努めます。
3. 地域と連携し、地域医療、救急医療、トータルケアの水準の向上に努めます。
4. 最新の医療にとりくみ、医療・医学の進歩に貢献します。
5. より良い医療サービス提供のため、健全な病院運営に努めます。



第9回

健康祭り

今年も笑顔いっぱい、楽しい一日でした。



オープニングは健康を祝して文教太鼓



病院長の開会宣言



いいですねえ、健康です



う〜んこのデータ、何とかしなくっちゃ



え〜と、私はここが○でここが×だわ



AEDはこのように使います



お薬のことで困ったことは？



カラスの会のみなさんも参加



がん細胞はこんなになってるんですよ



さて、血圧はどうか？



ほう、肝臓の手術はこうやるのか…



まだ受けておらぬのかがん検診



みんなで命の貯蓄体操です



久しぶりに赤ちゃん抱いたわ



救急車だいちゅき



血糖値はどうかしら？



健康は毎日歩くことからです



健康を願って一筆



今年も田島のおじちゃん手作りおもちゃ



最近指の先がなんとなく…



子どももストレス解消が必要



私も将来は外科医です



歯はここをこうして磨きましょう



手作りクッキーはいかが？



女性会の皆さんもお手伝い



先生、ちょっと聞いてくれる？



足には自信があるんだけど骨が心配なの



脳卒中も人ごとではありません



あなたの1日の食事は何カロリー？



僕たちも赤ちゃんクイズに挑戦

チーム医療紹介 心臓いきいきセンター

循環器内科主任部長
土手 慶五

安佐市民病院の心臓リハビリ施設（平成4年WAPセンター、岩森茂名誉院長設立）は県の心臓いきいきセンターとして認定され、地域住民の心臓をイキイキさせる事を目的として施設整備と人材育成を実施しております。

当院では年間約300人の心不全患者さんが緊急入院されます。しかしながら、幸か不幸か医学の進歩により入院期間は平均14日間となっています。その間に息切れの治療はできたものの、患者さんの教育、身体障害者や介護保険の認定、薬物指導、退院後の生活面や運動療法、在宅酸素などの指導はとても2～3週間では実施できず、そのままかかりつけ医へ帰ってしまうことになってしまいます。そして、十分な再発予防や不安の除去もできず、かかりつけの診療所、薬局、看護師、ケアマネジャーの皆様に迷惑をかけることになります。

この悪循環をたち切ろう！これが、心臓いきいきセンターのチーム医療の大きな目標です。

当院では、CCU（心臓高度治療室）に入院翌日には、心不全退院調整のための意見交換が朝のカンファレンスで行われます。心不全の病態や治療方針は当然のこと、退院は自宅なのか、入浴は自力なのかまで検討されます。そして、実際の運動療法が開始され、療養の状況が浮かび上がった時点で、退院調整が必要な症例には再度カンファレンスを開きます。これらのカンファレンスには看護師、薬剤師、理学療法士、臨床工学技士、医療相談員、栄養士など多くの職種が関わり、結果として若い勤務医の労働負担軽減に大きく貢献し、何よりも患者さんおよびご家族の方々に満足して頂けることになりました。

今後もこの心臓いきいきセンターのチーム医療にご期待下さい。



カンファレンス風景1



心不全専任医療相談員の宗田さん



カンファレンス風景2

総合診療科

主任部長 加藤 雅也

当院では平成16年10月に「総合内科」を開設し、主に初診の内科外来患者さんの診療を行って参りました。

平成20年8月にはそれまで麻酔科・集中治療部のみで行っていた夜間・休日のHOTライン当直を総合内科、循環器内科、神経内科、心臓血管外科、脳神経外科がバックアップすることになり、平日の日中の内科の急患の診療においては内科全員で構成する「救命総合診療部」が急患対応を行うことになりました。

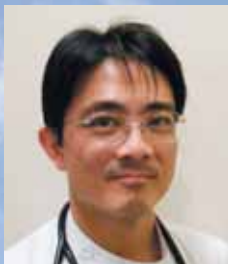
しかしながら、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、内視鏡内科、神経内科、血液内科、代謝内分泌内科、腫瘍内科などの専門診療内科の医師の仕事量は年々増加しており、各医師がそれぞれの専門診療科と兼任で総合診療を行うのには限界があります。そのような状況の中、総合内科は「救命総合診療部」における中心的な診療科として特に日中の内科急患診療を担ってまいりました。

今年度から専任の常勤医である原田和歌子医師が赴任し、「総合診療科」と改名して日中の救急患者に対するバックアップ体制を更に強化しました。これによって、地域連携紹介（基本的に、珍しい病気ではない内科の救急患者さん）を毎日受けさせていただくことが可能となり、「総合診療科」の入院患者数も次第に増加しつつあります。

さらに来年度からは初期臨床研修医が増員となる予定で、「総合診療科」は初期臨床研修医の初期診療教育の中心となる診療科としても重要な使命をもつこととなります。

〈スタッフ紹介〉

われわれはそれぞれの専門分野（サブスペシャリティ）を持ちながら、総合内科医としてさまざまな内科疾患に対応致します。



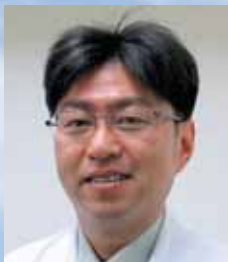
〈主任部長〉
加藤 雅也

専門は循環器内科ですが、総合内科の開設当初から診療に携わって参りました。内科系のみでなく、院内の各診療科との連携のもと、地域の先生方、患者さんおよびご家族の方に満足していただける医療を心がけています。



〈副部長〉
上田 裕之

専門は消化器内科、特に消化管で、内視鏡検査・治療が得意分野です。患者さんのために、より安全で質の高い診療技術を提供できるよう、心がけています。



〈副部長〉
脇 浩司

今年度から当科に赴任致しました。専門は消化器内科、特に肝臓です。患者さんの訴えに耳を傾け診察し、診断、治療を行うよう心がけています。各専門医とも相談しながら治療させていただきます。



〈副部長〉
原田 和歌子

本年度から専任常勤医師として赴任致しました。自治医科大学出身で、県北、とくに山県郡、安芸高田市の地域医療を十分に経験しています。患者さんがその人らしく、より豊かに人生をすごすことができるよう、患者さんとともにスタッフと協力して、よりよい医療を提供していきたいと思っています。



〈医 師〉
沖田 美佐

現在、もの忘れ外来に携わっています。初診の患者さんが安心していただけるような医療を心がけています。



〈医 師〉
三浦 勝也

今年、初期臨床研修を修了したばかりのフレッシュマンです。総合診療科のなかで最も体力があり、フットワークの軽さでは誰にも負けません。患者さんが安心して治療を受けていただけるよう、頑張ります。

以上のメンバーで内科を盛り上げ、日中の内科救急患者さんの受け入れ窓口として地域の皆さまのお役に立てるよう頑張っていきたいと思っています。



冬のおすすめメニュー

鶏団子と野菜鍋 (材料1人前)

鶏団子

鶏ミンチ…120g
玉葱…大さじ2杯
片栗粉…9g
酒…15g
塩…1.5g
コショウ…少々

キャベツ…120g
玉葱…100g
人参…90g

だし汁

水…500cc
顆粒ブイヨン…小さじ1/2
塩…小さじ1/3
コショウ…少々

合計 416kcal 塩分3.6g

今回から4回シリーズとして季節のお勧めメニューを紹介します。第1弾として、冬をテーマとしたお食事です。「冬」と言えば、体の芯から温まる物、皆さんが必ず冬には食べる物、安くて野菜も摂れる物「お鍋」を紹介します。簡単に作れる物ですから参考にして下さいね！

野菜は大きめに切り、素材の甘味を楽しみます。

【作り方】

- ①キャベツは食べやすい大きさに切ります。
玉葱の大さじ2杯分はみじん切りにし鶏団子用に、残りはくし形に切ります。人参は食べやすい大きさに切ります。
 - ②ボールに鶏団子の材料を入れ、粘りが出るまでよく練り混ぜます。
 - ③鍋にだし汁を入れて煮立て、②を一口大に丸めて入れます。表面がかたまったら①の玉葱・人参を加え、煮立ったら弱火にして7～8分煮ます。最後にキャベツを加えて煮ます。
- ✳だし汁に生姜汁を加えても美味しいです。好きな野菜やきのこ類をいれ、色々と自分なりに工夫をしてみるのも良いでしょう。また、最後に雑炊等にして食べられる方も、いらっしゃるかもしれませんが、カロリーと塩分が多くなってしまうので注意して下さい。
- ♣最近では鍋の素が色々出ていますので、簡単に鍋料理が楽しめるようになっていますネ。



参考文献：栄養と料理
栄養室 栄養士：中元 久美子



咳エチケットにご協力を

インフルエンザなど風邪の流行る季節です。咳症状のある方は他者への感染の防止のために以下の点にご協力をお願いします。

- ①お見舞いでのご来院は極力ご遠慮下さい。
- ②受診時にはマスクの着用をお願いいたします。
- ③人混みなどに出かけるときにもマスクの着用をお願いいたします。
- ④マスクがないときに咳症状が出現したときにはティッシュなどで口元を覆うと良いでしょう。
- ⑤その他、咳による飛沫が飛び散らないようお願いいたします。



敷地内全面禁煙について

当院では、「クリーンホスピタル」をキャッチフレーズに、院内感染対策、廃棄物処理対策とともにたばこ対策に取り組んでいます。

また、平成15年5月に施行された健康増進法にも受動喫煙防止が規定されています。このことから、患者さんや来院者の皆様の受動喫煙害を防止するため、**敷地内全面禁煙**としています。ご協力よろしくお願いします。

敷地内禁煙

ご注意、
ご協力ください。



平成16年1月1日から実施します。ご協力をお願いします。

患者サロン便り

2012年度 第3号



《患者サロン場所》1階 正面玄関の右奥
《開所時間》平日 9時～15時

患者サロンのスタッフを紹介します

伊藤 主任看護師



緩和ケアの看護師、伊藤です。
身体の辛さ、心の辛さなどありましたらいつでもご相談ください。
よろしくお願いします。

患者サロンってどんなところ？

1. がん患者・家族同士の情報交換や親睦が図れます
2. がんに関する様々な情報収集ができます
3. がんに関する疑問に医療者が対応します

患者サロンの3か条

1. 参加するのもしないのも自由
2. 言いたくないことは言わなくても大丈夫
3. 相手の人のプライバシーは聞かない

新しく入った図書のご紹介

書名	著者
伝え上手な患者になる！	平松 頌
患者さんのための乳がん診療ガイドライン2012年版	日本乳癌学会
手術は、しません 父と娘の「ガン闘病」450日	関 鬼六
生きる力を磨く66の処方箋	鎌田 實
ガン専任栄養士が患者さんの声を聴いて作った73の食事レシピ	川口美喜子、青山広美

広島市立安佐市民病院 医療支援センター がん相談支援室



総合相談室の利用のしかた

☆こんなときに利用できます！！

- 例えば…
- ・自宅での介護・看護についての相談
 - ・病院・施設等の相談
 - ・医療費・生活費の相談
 - ・身体障害者手帳・年金・諸手当等福祉制度の相談

…などです

☆利用方法

あなたに関わっている医師、看護師にお申し込みください。相談日時の予約を取り、医療ソーシャルワーカー、看護師が対応いたします。



利用時間

平日 8:30～17:00



- * 個人情報の保護に配慮いたします
- * 相談内容については自己決定を尊重してお手伝いいたします

院外処方箋FAXコーナー

当院では外来患者さんには院外処方箋による保険調剤薬局のご利用をお願いしておりますが、その際には院外処方箋FAXコーナーのご利用もお願いいたします。

FAXコーナーの利用により保険調剤薬局での待ち時間の短縮や処方箋上の疑義への対応も迅速化いたします。ご不明の点はFAXコーナーに常駐している担当者にお尋ね下さい。

